

平成 30 年 9 月 一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会

日時 : 平成 29 年 9 月 1 日 (土) 場所 : ハービス PLAZA 6 階会議室
会長 : 増田 博 副会長 : 長谷川利雄 藤本啓治 小林正之 白木隆士 木下裕介
理事 : 石井正治 上野憲司 右近良治 大島正義 大成浩征 荻野 晃 日下昌浩
貴島浩二 岸本英樹 岸本成人 清水広太 神藤佳孝 田中富弥 田上実男
調子和則 中川浩彰 中野晋吾 西澤 徹 邊見俊一 堀口泰輔 前中孝文
宮口正継 宮崎 浩 宮島茂夫 宮田重樹 森下 忍 森本清一 矢倉久義
山口康二 山口眞一 山本善哉 山本 哲 梁 裕昭 吉村弘治
監事 : 黒田晃司 松矢浩司 栗本一孝 特別出席者 : 早石雅宥

[協議事項]

1. 第 13 回ロコモコーディネーター資格取得研修会 後援名義の使用許可のお願い

長谷川副会長

12 月 2 日に堺市で開催される第 13 回ロコモコーディネーター資格取得研修会后援名義使用許可のお願いは、協議の上、了承された。

2. 大阪マラソン関連予算案

荻野理事

支出 : 会場費 51 万 4620 円、 交通費 地下鉄 1 日乗車券 (600 円)78 名分	4 万 6800 円
各種製作費 T シャツ 2000 円+ブルゾン 3500 円(税抜き) 7 名	4 万 1580 円
郵送費 レターパック 510 円×7 名分=3570 円	封書 120 円×78 名分=9360 円
	支出合計 61 万 5930 円
収入 : 打ち上げ会参加費 (5000 円) 50 名分	収入合計 25 万 0000 円
	▲ 36 万 5780 円

協議の上、了承された。

3. 骨と関節の日イベント出務依頼

山口(眞)理事

司会 : 大成先生、開会ご挨拶 : 増田会長、閉会ご挨拶 : 藤本先生、写真係 : 調子先生
受付山口(康)先生他 6 名参加されることとなった。

4. 平成 30 年度ロコモコーディネーター資格継続研修会開催計画

上野理事

今年度セラピスト研修会と一緒にロコモコーディネーター資格継続研修会を行うこととなった。
ロコモコーディネーター資格継続研修会は、別室でテレビ視聴形式を行うために、カメラ、ケーブル設営が必要である。セラピスト委員会の委員は全員参加して欲しい。
協議の上、了承された。

5. 大阪北部地震に関する重要調査

宮崎理事

6月18日に発生した大阪北部地震は、地震そのものによる被災の他、停電や断水、ガスの供給停止、鉄道の運転見合わせ、電話が繋がらないなど、生活へのダメージが甚大であることを目の当たりにした。これからの大規模災害に際してどう備えるべきかを明らかにする目的で、会員（医師）およびスタッフにアンケート調査を行い、第32回JCOA学会で発表したいと申し出があり、協議の上、了承された。

6. OCOA 特別会員創設、JCOA 名誉会員の会費納入意思確認の件

木下副会長

総会提出文書の文言等を練り直し、12月理事会で再審議することとなった。

7. 出務費について

木下副会長

①出務費

1単位（ロコモ健康フォーラム、骨と関節の日等）2,000円とし、日曜・祝日等の出務で朝から午後まで出務した場合（セラピスト研修会等）2単位4,000円。研修会等講演される先生に30,000円。

②大阪マラソン

各救護所に出務の先生については、大阪マラソンから出務費がでるため0円。

各救護所を巡回されている先生は、大阪マラソンから出務費がでないため4,000円とする。

打上は会費5,000円、参加者には出務費として2,000円支給する。

③東京等他府県に出務した場合

東京、横浜、九州、東北、北海道については10,000円

*JCOAシンポジウム：今まで交通補助費として出務費を32,000円としていたが、今年度よりほかの出務費と同様に10,000円とする。

名古屋、静岡、中国、四国、北陸、新潟については5,000円

関西圏は2,000円（日曜・祝日については4,000円）

例外として代議委員会に出務する先生5名のみ32,000円とする。

④特別研修会

座長、開会、閉会の挨拶：メーカーより謝礼がない場合OCOから2,000円

⑤エコーセミナー：メーカーより謝礼がない場合OCOから、OCO以外の講師に7万円、OCOからの講師に3万円、司会進行の先生2,000円。

⑥JOA学会、JCOA学会会期中にある出務費について、JCOA学会会期中の出務費は0円とする。

JOA3学会（総会・基礎・骨軟部）は、平日開催で会期中に会議が行われており、休診・代診等に会議に出席されている先生もおられることより、他府県出務費に準ずる。

- 8. SLOC 団体寄付について** **木下副会長**
SLOC は、全国の自治体、医師会、各県 COA と連携してロコモ対策の重要性を広く国民に啓発し、ロコモ対策のロコチェック、ロコトレ指導などを実践して健康寿命延伸を目的に設立された NPO 法人で寄付を主体に活動しており、活動資金として会員及び各県 COA に寄付を依頼されている。今後、議論が出るまで毎年 OCOA から 10 万円の寄付を行うことが提案され、了承された。
- 9. 50 周年記念行事運営資金の準備について** **木下副会長**
40 周年記念事業(記念式典、懇親会、記念誌発行等)に OCOA から約 600 万円支出した。
50 周年記念事業に備え、年 60-70 万円ずつ準備していきたいと申し出があり、了承された。
- 10. 平成 30 年度レジメ委員会の開催** **中野理事**
平成 30 年 12 月 29 日(土) 16:30~ 行うことが提案され、了承された。
- 11. 入会審議** **小林副会長**
新規入会申請(天野大、水野保幸、西浦弘晃、白川重雄、田中裕之)に対する審議が行われた承。
- 12. 研修会予定** **白木副会長**
311 回-313 回研修会、特別研修会(9/22、10/20)の総合司会、受付、座長が提案され了承。
- 13. 各務文献二百回忌法要概要と法要参加のお願い** **吉村理事**
平成 30 年 10 月 14 日(日) 11:00 浄春寺本堂 大阪市天王寺区夕陽丘 5-3
現時点で参加者は 20 名と少なく、OCOA 理事・OCOA 研修会・ML などで参加者を募る事を了承。
- 14. 各務文献石碑建立法要に対する OCOA からの寄付のお願い** **増田会長**
各務文献 石碑建立 法要に対する OCOA から 10 万円寄付をお願いしたいと申し出があり了承。
- 15. OCOA 支出削減の件** **木下副会長**
会計として会報にかかる経費を削減できないか提案がなされ、広報委員会で協議することとなった。ロコモ健康フォーラムで産経新聞に支払う額を削減できないか提案されたが、新聞 2 面を使つての情報発信を考慮すると妥当ではないかと意見があった。

[報告事項]

1. 会員動態 (前回の理事会以降)

小林副会長

会員動態 (平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 8 月 29 日)

平成 30 年 8 月末現在 一般会員 484 名、顧問 9 名、名誉会員 10 名 計 503 名

入会 16 名	越宗勝	医) 越宗会越宗整形外科病院	住吉区	6 月 23 日入会
	大草良夫	大草整形外科	此花区	6 月 23 日入会
	大窪 博	医) 藤田好生会堺フジタ病院	堺市	7 月 28 日入会
	森本周平	医) 森本医院	平野区	7 月 28 日入会
	重松浩司	しげまつ整形外科手の外科クリニック	布施	7 月 28 日入会
	楠本幸弘	くすもと整形外科	泉佐野泉南	7 月 28 日入会
	藤原桂樹	ふじわら整形外科	西区	8 月 4 日入会
	根木陽一郎	ねぎ整形外科リウマチクリニック	枚方市	8 月 4 日入会
	陳 宗雅	陳整形外科クリニック	吹田市	8 月 4 日入会
	辻 卓司	医) 歓喜会辻外科リハビリテーション病院	天王寺区	8 月 4 日入会
	川戸明	整形外科川戸クリニック	城東区	8 月 9 日入会
	篠原和幸	しのはら整形外科クリニック	岸和田	8 月 25 日入会
	西本慎作	医) 西本会 西本整形外科	和泉市	8 月 25 日入会
	梅田直也	うめだ整形外科	茨木市	8 月 25 日入会
	堤眞悟先生	つつみ整形外科・皮膚科クリニック	都島区	8 月 25 日入会
	山本泰司	医) 山稜会山本整形外科クリニック	豊中市	8 月 25 日入会
退会 2 名	高谷泰輔	医療法人大潤会みやのさか整形外科	6 月 1 日退職により関西医大	
	原省吾	名誉会員	30 年 6 月 1 日逝去	

2. 長谷川副会長 報告事項

長谷川副会長

(1) 日整会理事会 6/19 7/11・東京

- ・柔整師の超音波画像観察への対応 : JCOA 理事長名を修正することで要望書案を承認。
- ・日整会会員マイページから e-learning 小児運動器疾患指導管理に進む流れを資料にて説明

(2) JCOA 委員会編成会議 6/9・東京

(3) JCOA 医療安全委員会 8/5・東京

医療安全指針が発刊された

(4) スクールトレーナーについて

学校運動器検診体制の整備・充実に関し「スクールトレーナー」制度の検討があり、スクールトレーナーとして理学療法士が行う事には第 3 回 JCOA 理事会にて反対決議。

3. 平成 30 年度第 2 回一般社団法人 JCOA 理事会

6/10・東京 貴島理事

【審議事項】

- 1、新井貞男理事長、奥村栄次郎・三宅信昌・原田昭・長谷川利雄副理事長選定
- 2、OAOA 理事の各種委員会の委嘱：長谷川（学術研修、医療システム、医療安全・倫理、国際交流、利益相反管理、災害医療チーム検討）貴島（運動器リハ・介護保険検討、病院 WG、学校保健運動器検診 WG）古瀬（病院 WG）矢倉（無床診 WG アドバイザー）梁（無床診 WG）堀口（学術研修、利益相反管理委、利益相反小）宮島・山口眞（雑誌編集 WG）神藤（社会保険等検討）前中（医療システム委員会アドバイザー）宮崎（医療システム）白木（IT 戦略）吉村（運動器リハ・介護保険検討）宮田（SLOC 連携）
- 3、平成 30 年 6 月 6 日現在 5,905 名の会員数、各 COA で会員の勧誘を
- 4、田辺秀樹前理事長に顧問委嘱
- 5、その他 日本医学会への加盟申請、運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会の委員外参加者旅費支給、サーバーバックアップ用のネットワークドライブの買替え、の報告

【報告事項】

- ・記念日名称変更「運動器の健康・骨と関節の日」から「運動器の 10 年・骨と関節の日」に
- ・JCOA ウェブサイトの「会員の部屋」にメーリングリストの検索機能を改良、2012 年 6 月 14 日以降について検索可能に。

4. 平成 30 年度第 3 回一般社団法人 JCOA 理事会

8/19・東京 貴島理事

【審議事項】

- ・東日本大震災及び平成 28 年熊本地震お見舞金配分：東日本大震災被災会員の 3 名に分配し送金、残金は熊本県臨床整形外科医会に送金し、残高なし
- ・7 月西日本豪雨による次の 4 名の被害会員（岡山 2、広島・愛媛各 1 名）に見舞金送金。
- ・各 47 都道府県における災害時に災害対応委員会及び実務連絡担当者を置く。
- ・医業類似行為に係わる健康被害等の全国 1 日アンケート調査を実施。
- ・「医療安全指針（第 2 版）送付希望者 1 冊 1,000 円（送料込み）で追加注文に対応。
- ・平成 17 年 6 月発刊の「運動器疾患 X 線撮影安全管理指針」の刷新
- ・中華民国骨科医学会（台湾）との交流促進：鹿児島 龍憲司氏が国際交流委員会委員候補に
- ・その他 会費等規則、選挙規則、職員就業規則改正。

【報告事項】

- ・平成 30 年度日本医学会加盟申請書の提出
- ・7 月西日本豪雨の災害医療チーム先遣隊として山下理事、丹鋏事務局長が被災地調査。
- ・第 6 回日韓臨床整形外科合同研究会報告 平成 30 年 6 月 2 日（土）ホテルオークラ福岡
- ・平成 30 年度 JCOA 有床診療所部会全体会議、JCOA 有床診療所部会アンケート（診療報酬改定の報酬への影響）、平成 30 年度病院部会全体会議及び JCOA 研修会（病院部会主催）の報告
- ・運動器検診の結果、学校医の勧告により医療機関を受診した児童・生徒等の実態調査に関して

委託契約を行った。

- ・平成 30 年度運動療法機能訓練技能講習会の後援、第 3 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会の後援名義使用について、役員交代に伴う登記申請、Moving Vol.28 (運動器の健康・日本協会) についての報告
- ・第 4 回整形外科医のためのナレッジセミナー開催状況報告・アンケート結果報告
次回大阪で開催 (大医大 根尾昌志教授、JCOA 長谷川利雄副理事長)
- ・小児運動器疾患指導管理医師セミナーの e ラーニングが日整会のホームページで可能。視聴後、設問に回答し、80%以上の正解で合格し、課金は 2000 円

5. OCOAエコーセミナー

山本理事 大島理事

平成 30 年 6 月 30 日 (土) 中外製薬大阪北支店 (座長) 増田博 (司会) 山本善哉

セミナー参加者 21 名 (OCA 会員 10 名)。

今回よりセミナーは中外製薬の共催となり講師料は中外製薬が負担(次回まほろば学会で開催)

6. 平成 30 年度第 1 回運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会 7/1・東京 吉村理事

- ・JCOA 鹿児島学会シンポジウム計画検討
- ・理事長諮問事項 (平成 30・31 年度) : 平成 32 年度診療報酬と平成 33 年度介護保険報酬の改定に向けて、診療報酬・介護報酬改定の検討。その他、運動器リハの評価方法や介護事業への参入に関する検討、医療から介護リハの移行に関する検討および会員周知。

7. IT 戦略委員会

7/2・東京 白木副会長

- 1、10 人規模の会議はテレビ会議ならコストは 1/5 以下になる。テレビ会議導入マニュアルを作製し依頼があれば提示、会議の際に要請があれば本委員会から 1 名参加。
- 2、グーグルフォームでのアンケート作成は継続。JCOA での各種アンケート調査への対応について、FileMaker サーバーでのウェブアンケート作製を引き続き検討。
- 3、JCOA ウェブサイト更新と構築を検討、さくらインターネットレンタルサーバーは機能が充実し低コストで既に SLOC にて実証済。
- 4、メーリングリストは UMIN (100 名越える場合) とレンタルサーバー (数十人程度) 2 種併用検討。IT 委員会と医療システム委員会で資料 up 用にさくらサーバー内に掲示板作製し運用開始。
- 5、バックアップサーバー新規購入を理事会上申、サーバー関連の耐久年限、使用見込期間調査。
- 6、31 回学術集会 IT 戦略委員会シンポジウム発表 (7/15) について TV 会議共有ファイルで予行。
- 7、平成 30・31 年度の本委員会の役割分担について事務引継を行った。

8. 平成30年度第1回利益相反管理委員会

7/7・東京 堀口理事

【協議事項】

- 1) JCOAの利益相反に関する指針・規則間の不整合の修正を前年度までと同様に検討し修正
- 2) 日整会の利益相反指針の申告義務年度が過去1年から過去3年に変わったことからJCOAも来年の総会までに申告年度の変更を定款等検討委員会と共同で検討。指針・規則の改正は運営上、理事会マターとすることを定款等検討委員会と共同で検討する。

【報告事項】

日本医学会のCOI管理は研究者と企業の産学連携についてのみ述べているのに対しJCOAは被検者の安全、人権保護も謳っており、この件に関して指針の改正が必要かMLを使用した電磁的会議で検討。

9. 平成30年度第2回日本臨床整形外科学会 学術研修委員会

7/14・鹿児島 堀口理事

【決議事項】

- 1) 委員長に鶴上浩先生、委員長の指名により副委員長に堀口泰輔先生を選出
- 2) 国際交流シンポジウム(JCOA学会で韓国、台湾の整形外科医と共通のテーマについて討議を行う)を当委員会が中心となり企画する事が承認された。

【報告事項】

- 1) 日本医学会加盟申請報告
- 2) 平成30年度の理事長諮問事項について以下の確認。
(1)学術集会の内容を充実するため、
① 開催県との合同プログラム委員会実施② 学術集会の参加費、懇親などアウトライン検討③ 学術集会での演題内容吟味と検討 (2)JCOAから第93、94回日整会学術総会でのパネル・教育研修会演題決定と申込み (3)学術集会・研修開催県の決定 (4)JCOA学術賞・学会功労賞・学術奨励賞の募集と選考委員会開催 (5)新規JCOA学術研究助成候補決定と既定研究の学術集会発表 (6)査読委員会の開催 (7)日本医学会分科に入るための情報収集と対策 (8)国際交流委員会と連携してJCOA学術集会の国際化の検討。

10. 平成30年度第3回医療システム委員会

7/8・東京 宮崎理事理事長諮問

項に沿った委員会活動 1.代替医療・統合医療の研究、現状の把握と対策、2.厚生労働省の療養費検討委員会委員との連携、3.医業類似行為有害事象・事例の収集と検討、4.柔整師問題解決のための方針の検討、5.あはきの受領委任払い導入後の影響の検討、6.柔道整復師の卒後研修制度の影響と問題点の整理、7.スクールトレーナー制度を加えるかどうか。

【報告事項】

- 1、NHK 3/22 放送「あさいち」でランドセルの重さで腰痛になった小学生に施術を行った整骨院を取材。相談先が整骨院であるかのような誤解を与えたNHK制作局責任者への意見書の検討。
- 2、「亜急性」の文言の見直し、施術管理者、施術内容記録書(施術毎の署名)、あはきの受領委任に同意書が必要なら柔整の柔道整復運動後療法にも同意書が必要。
- 3、柔道整復師の超音波面

像観察について。健康被害について調査が必要。医師が指導しているケースもあり。柔整師ガイドラインでは結果告知義務があるとの記載。(医師法違反) 4、医業類似行為に係わる健康被害報告調査(4/1~6/25)報告が少ない。5、医業類似行為に係わる健康被害報告アンケート用紙の一部改訂 6、JOAのHP いわゆる「むち打ち症・寝違え・突き指・ぎっくり腰」を分かりやすく掲載。

【審議事項】

1、平成30年度JCOAシンポジウム(平成30年11月11日 品川プリンスホテル) テーマ: あはき受領委任導入(平成30年10月から)の影響 2、1日だけの「医業類似行為に関わる健康被害等の全国調査」について(初診料を算定した人のみ)

【その他】

1、はり、きゅう、あん摩、マッサージの同意を行った医師は施術結果に対して責任を負うものではない。とする一方、裁判例では責任あり。 2、日本フルハップの診断書は医師と柔整師の共通の物を現在でも使用しており、要望書を出しているが改善なし。 3、柔道療養費の被保険者等への照会について 4、医業類似行為の基礎知識 Q&A マッサージの同意書の取り扱いについて 5、保発32号{鍼灸療養費の支給対象となる疾病は医師による適当な治療手段のないもの。医科との併給、併用の禁止。}この項目が削除される?

11. JCOAシンポジウムの案内

宮崎理事

平成30年11月11日(日) 11:00 品川プリンスホテルにて開催予定
基調講演

- 1 「あはき療養費における受領委任導入の経緯」(仮) 清水恵一郎先生
- 2 「療養費受領委任に対する保険者の対応について」(仮) 幸野庄司理事
- 3 シンポジウム1~5(松崎・後藤または橋本・中野・加護・相原 各先生)

12. 平成30年度 無床診WG 打ち合わせ会

矢倉理事

平成30年7月15日(日) 鹿児島城山観光ホテル

桜島学会シンポジウムの打ち合わせ: シンポジウムの座長の谷口先生が打ち合わせ会の進行を行い、続いて三宅副理事長の基調講演説明と各講演の先生方の講演打ち合わせを行った。

13. 平成30年度 ロコモ健康フォーラム(7月21日 天王寺都ホテル)

大成理事

講演1 「ロコモ予防で寝たきりを防ぐ」 大阪臨床整形外科医会 宮田重樹 先生

講演2 「チェアエクササイズ」

NPO法人1億人元気運動協会会長 竹尾 好恵 氏

参加者 361名 共催 産経新聞社 後援 全国ストップ・ザ・ロコモ協議会

14. 平成30年度 第1回社会保険等検討委員会

7/29・東京 神藤理事

・新井理事長挨拶 平成30年度診療報酬改定で、小児運動器疾患指導管理料の追加、肩腱板損傷、末梢神経軸索断裂の2つが運動器リハビリテーション算定上限日数除外項目認定、リハビリテーション総合計画評価料にロコモ25が入った事、150日越えのリハビリテーションにおいて13単位の算定が1年間延長された事、など活動の成果を報告。

・今後の課題 小児運動器疾患指導管理料年齢制限を15歳までに延長させ、運動器リハビリテーション料を脳血管リハビリテーション料同等とする。

・2017年10月～12月分アンケート調査結果 (1)無床診療所はレセプト枚数、延べ人数、1施設当たりの診療報酬ともに減少(介護保険への移行が影響) (2)有床診療所はレセプト枚数、延べ人数、施設当たりの診療報酬とも軽度減少 (3)病院は、レセプト枚数は少し減少したが、1人当たりの点数、1施設当たりの診療報酬は増加(手術点数の増加によると推察)

レセプト調査は、厚労省も重要なデータとして取り扱われており、今後も引き続き実施していく。

・平成30年度JCOA保険審査委員会議の審査での検討事案

管理料、検査、画像診断、投薬、リハビリ、処置、手術について検討した。

・次期診療報酬の改定に対する要望は、平成30年10月20日(土)開催の平成30年度医業経営委員会までに、JCOA及び日本運動器科学会より各委員がML上で意見を集約。

15. 平成30年4月リクルート委員会発足以来の新入会者

神藤理事

リクルート委員会発足(平成30年4月14日)以後の成果報告。入会者24名(退会9名)。

平成30年3月3日一般会員合計469名より15名増員し、平成30年8月27日現在484名。

16. 第308回学術研修会 アンケート調査結果

神藤理事

6月研修会は、講演1,2とも70%が好評。今後のテーマ希望は小児整形外科疾患、肩・肘関節疾患、14分野の順が多い。メーカー(小野薬品)今後もアンケート調査継続を希望。

17. OCOA 非会員の研修会参加リストの作成とその運用に関して

邊見理事

資料提示がなされ、次の18、と一緒に報告

18. 在阪5大学と京大・和医大・奈良医大のリクルートの現状報告

邊見理事 神藤理事

過去の研修会参加者を分析し在阪5大学と京大・和医大・奈医大の開業医を抽出しリスト作成、リクルート目的で各大学の同窓会名簿や開業医名簿から242名の非会員リストを作成。(住所・氏名・クリニック名・勧誘の賛否など)これを次に運用。

1、リストからリクルート委員を中心に非会員者の勧誘。

2、12月理事会までに各大学1名以上のリクルートを実施する。

3、各大学の同窓会や開業医名簿更新後、リクルート委員はアップデートを行う(→辺見に連絡)

4、京大の開業医リストからもリクルート(石井・村上先生の協力で、石井理事と相談し勧誘)。

19. 平成 30 年度 第 3 回編集委員会 8/6・T.V. 山口(眞)理事 宮島理事
【審議事項】

- 1、ニュース第 160 号の発行遅れ、第 161 と第 162 号発行予定についての報告。
- 2、ニュースと会報の「発行と発刊」が混在していたが、「発行」に統一。
- 3、会報 22 号(第 44 回研修会青森特集号)・会報 23 号(第 31 回 JCOA 学術集会鹿児島特集号)
- 4、会報 24 号(第 45 回研修会(茨城)特集号)は実行委員長 渡邊行彦先生と要点を確認。

20. 平成 30 年度 第 3 回雑誌編集 WG 8/6・T.V. 山口(眞)理事 宮島理事
【報告事項】

- 1、114 号 英文の案内を 113 号掲載投稿規定にあわせて改定する。
- 2、115 号 113 号に掲載した新投稿規定による投稿論文 4 篇を受付前チェック中。
- 3、学術集会発表演題論文投稿システム IT 戦略委員会にて構築中。
- 4、第 31 回学術集会 見本誌と投稿規程別刷りのセットの余りは現地で利用された。

【協議事項】

115 号 表紙のデザインの費用と印刷技術について検討、次回の委員会で決定。

21. 平成 30 年度 第 2 回広報委員会報告 8/25・大阪 調子理事
大阪臨床整形外科医会会報 45 号 目次(案)についての報告

22. 各務文献二百回忌法要実行委員会 8/25・大阪 吉村理事
1. 各務文献二百回忌法要 平成 30 年 10 月 14 日(日) 11:00~浄春寺本堂にて

23. 地域情報委員会 8/26・大阪 宮田理事

整形外科医が地域で関わる事業を効果的に進めるために、郡市区医師会で役員として活動されている OCOA 会員を中心に地区医の情報を共有し以下の点について活動を行う。

- 1、ロコモ啓発事業:一般会員の地域住民向けロコモ講演スライドを作成配布し、サポートする。
- 2、ロコトレ普及:SLOC ロコトレ教室を基にロコトレ指導マニュアルを作成配布し医療機関等で指導実施できるようにサポートする
- 3、地域包括ケアシステムにおける介護予防推進:
 - ①ロコトレ教室を地区で開催する(ロコトレ指導マニュアルを利用)
 - ②民間活力を利用(例として富田林ロコモ管理事業コンソーシアム(アルケアが参画)を紹介)
- 4、運動器検診の整備、運動器二次検診の充実:検診で要観察、二次検診に来られた児童生徒に対する指導マニュアル作成
- 5、柔整問題:不正広告に対する適切な指導を保健所に要望する(要望書のひな形作成)

24. 第 55 回大阪整形外科症例検討会

岸本理事

平成 30 年 9 月 15 日 (土) 15 : 00 ~ 18 : 00 北浜フォーラム 中島弘司先生 (代表世話人)

座長 第 1 部 関西電力病院藤尾圭司先生 第 2 部 岸本整形外科岸本先生

特別講演 早稲田大学スポーツ科学学術院 熊井 司先生 (座長 大手前病院 中島弘司先生)

『運動器スポーツ障害に対する低侵襲治療戦略 一新たな保存療法の活用一』

共催:大阪整形外科症例検討会/アステラス製薬株式会社 後援:大阪臨床整形外科医会

25. 平成 30 年度 大阪府骨と関節の日行事予定

藤本副会長

- 1、松原市健康フェア 9 月 8 日 (土)
- 2、淀川区みんなの健康展 9 月 29 日 (土)
- 3、阿倍野区医師会の区民健康講座と医療相談 9 月 29 日 (土)
- 4、ロコモ市民公開講座～骨と関節の日～ 10 月 6 日 (土) 東大阪ライティホール
- 5、アベノ健康展 10 月 6 日 (土)
- 6、住吉区健康まつり 10 月 13 日 (土)
- 7、とよなか市民健康展 10 月 14 日 (日)
- 8、羽曳野市ふれあい健康まつり 10 月 21 日 (日)
- 9、松原「みんなの救急&健康」講習会 10 月 27 日 (土)
- 10、西成区みんなの健康展平成 31 年 3 月 9 日 (土)

26. 研修会報告

白木副会長

OCOA 特別研修会 6 月と 8 月、308 回・309 回・310 回研修会、の開催報告が行われた。

この議事録が正確であることを証するため、定款第 40 条の規定に従い、会長及び監事が署名、押印する。

平成 年 月 日

会長

印

監事

印